

## Facial Nerve Research Japan 投稿規定（2025 年度改定版）

1. 日本顔面神経学会学術集会での発表演題に限り投稿を受け付ける。
2. 著者は原則として日本顔面神経学会の正会員でなければならない。また、共著者は日本顔面神経学会の正会員または発表会員でなければならない。
3. Facial Nerve Research Japan（以下、本学会誌）は、総説（Review）、原著（Original Article）、症例報告（Case Report）、発表抄録（Proceedings）の4種類で構成され、原著（Original Article）、症例報告（Case Report）、発表抄録（Proceedings）については投稿者が希望論文種別を選択する。総説（Review）は編集委員会が執筆を依頼する。
4. 総説（Review）、原著（Original Article）、症例報告（Case Report）は学術論文として取り扱う。
5. 原著（Original Article）、症例報告（Case Report）は、査読者による Peer Review を行い、編集委員会にて採否を決定する。
6. 総説（Review）、発表抄録（Proceedings）は編集事務局と編集委員会により簡易校正を行う。
7. 投稿の締め切りは学術集会終了後2カ月程度とする。総説（Review）および発表抄録（Proceedings）は学術集会で発表した年度の本学会誌に掲載する。原著（Original Article）、症例報告（Case Report）は、査読・著者らによる修正等に要した期間によっては、翌年以降の本学会誌に掲載することがある。
8. 発表抄録（Proceedings）の投稿料は3,000円、原著（Original Article）、症例報告（Case Report）は10,000円とする。ただし、刷り上がり枚数が次項に記載の枚数を超える場合は、超過1ページにつき5,000円を著者負担とする。編集委員会から執筆を依頼した総説（Review）に関しては、費用を請求しない。
9. 執筆要領
  - 1) 総説（Review）、原著（Original Article）、症例報告（Case Report）は刷り上がり6ページ以内（目安として1印刷ページは2,000文字に相当）とする。図表は1/4ページに相当するサイズの場合、1点を400字としてカウントすること。
  - 2) 発表抄録（Proceedings）は刷り上がり2ページ以内（目安として図表を含め3,000字以内）とし、編集委員会で作成したテンプレートに沿って原稿を作成する。
  - 3) 総説（Review）、原著（Original Article）、症例報告（Case Report）は論文種別、論文タイトル（日・英）、著者名（日・英）、所属機関名（日・英、所属機関が異なる場合は、著者名の右肩に上付きで1、2のように番号を付ける）、著者の連絡先住所、電話番号、e-mail アドレスを記載すること。
  - 4) 原著（Original Article）、症例報告（Case Report）には400字以内の和文要旨、400語以内の英文要旨（Abstract）、3～5語の日本語・英語のキーワードをつける。総説（Review）は400字以内の和文要旨と3～5語の日本語のキーワードを記載し、英文要旨・キーワードは不要とする。
  - 5) 原著（Original Article）および症例報告（Case Report）の英文タイトルおよび英文抄録は投稿論文の掲載が決定した時点で編集委員会により校閲を行い、その費用は著者負担とする。総説（Review）および発表抄録（Proceedings）は英文タイトルについて編集委員会により校閲を行うが、校閲費用は著者に請求しない。
  - 6) 原稿データは以下のフォーマットを推奨する。  
本文：Word、表：WordまたはExcel、図：Word、Excel、PowerPoint、PDF
  - 7) 図表は白黒のみでの掲載とする。図表は本文中での参照順に番号を付け、1点ごとに改ページし、当該ページ内に必ず図表番号（例：図1、表1）を記載する。他の文献から図表などをそのまま引用する場合は出典を必ず明記し、引用元の許可を得なくてはならない。過去の Facial Nerve Research Japan に掲載された自らの論文の図表を引用する場合は、上記手続きは不要とする。

- 8) 本文で引用した文献は、当該箇所後に [ ] を用いて、引用した順に番号を付け、参考文献の項に番号順に下記の例にしたがって記載する。

#### 原著論文の場合

著者名（筆頭著者から3名までとし、それ以上は他、あるいは et al）：題名．雑誌名（略題：和文誌は各雑誌表記、欧文誌は Index Medicus に準ずる）発行年度；巻数：頁（始頁-終頁）。

例) Murakami S, Mizobuchi M, Nakashiro Y, et al: Bell palsy and herpes simplex virus: Identification of viral DNA in endoneurial fluid and muscle. Ann Intern Med 1996; 124: 27-30.

例) 羽藤直人, 村上信五, 松代直樹, 他: 顔面神経麻痺の評価 up-to-date. Facial N Res Jpn 2016; 36: 9-10.

#### 単行本の場合

著者名（筆頭著者のみとし、それ以上は他、あるいは et al とする）：題名．編集者名 編集（あるいは監修など）．書籍名．発行地：発行者名，発行年度（西暦）：頁（始頁-終頁）。

例) Suzuki J: Tympanoplasty: principles, objectives, indications and methods. In: Suzuki J, et al. eds. Reconstructive Surgery of the Middle Ear. Amsterdam: Elsevier, 1999: 3-35.

例) 栢森良二: 顔面神経麻痺のリハビリテーション 第2版. 東京: 医歯薬出版, 2017: 8-13.

例) 日本顔面神経学会編: 顔面神経麻痺診療ガイドライン 2023年版. 東京: 金原出版, 2023: 13-17.

10. 総説 (Review)、原著 (Original Article)、症例報告 (Case Report) では、利益相反について記載しなくてはならない。著者は論文内容に影響を及ぼす可能性のある報酬、助成金、寄付金、特許、株式の保有やその他の援助（機材の提供、施設の使用などを含む）の有無を本文末尾に記載する。利益相反がない場合には、その旨を記載する。
11. 原稿作成に当たっては個人情報保護の観点から情報の表記・管理には注意を払うこと。顔面の写真については不要な部位を切り取る、マスキングするなど、個人の特定に繋がらないよう配慮し、やむを得ず顔全体の写真を用いる場合には、患者または親権者に許可を得たことを付図説明内に明記しなくてはならない。また内容の倫理性に十分配慮すること。人を対象とする医学系研究については「ヘルシンキ宣言」ならびに「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守するとともに、各施設内の倫理委員会の承認のもとに行われたことを「方法」の項に明記する。また、内容に応じてインフォームド・コンセントを得たことを本文中に記載する。動物実験については、動物の保護および管理に関する規定を遵守すること。
12. Facial Nerve Research Japan に掲載された論文の著作権は日本顔面神経学会に帰属する。ただし、著者は本誌からの出版後、著者最終稿を即時に機関リポジトリなどの公的なオンラインリポジトリから公開することができる。発表抄録 (Proceedings) については、投稿者が発表内容を他誌へ投稿すること、および自ら使用・公表・翻訳・翻案等して利用することを妨げない。総説 (Review)、原著 (Original Article)、症例報告 (Case Report) の重複投稿については、これを認めない。
13. 投稿送付先および投稿締切は、年度ごとに異なるため、別途、編集委員会の定める投稿の手引きに従う。

2025年3月7日制定

問い合わせ先

日本顔面神経学会

Facial Nerve Research Japan 編集事務局

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

中西印刷株式会社内

E-mail: fnr-ed@nacocos.com